

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」福岡空港校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		一人当たり 3 m以上のスペースを確保しています。	時間帯や利用人数によってパーティションで仕切るなど工夫しています。
	②	職員の配置数は適切である	○		指導員が六名配置となり、人員は規定人数以上確保しています。	曜日や時間帯によって対応人数を調整しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	個別支援と集団活動のスペースを分けて活動しています。事業所入口に段差があったり、ドアで仕切られている為、車いすなどの対応はできない状況です。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている			こまめな換気や消毒、活動によって配置などを変えたりしています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		支援計画を共有し、支援後や保護者様とのお話の後の共有も必ず行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度保護者アンケートを実施し改善を行っています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は現在行っていません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		（財）発達支援研究所へ研修やブロック単位での研修など年間計画に従って受講しています。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		フェイスシート、アセスメントシートを活用したり、定期的に保護者様との面談の機会を設け、ニーズや課題をこまめに把握するように心がけています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全利用者様へ統一したアセスメントを行っています。	

提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画に具体的な支援内容を記載しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援前日もしくは支援に入る前に個別支援計画を確認してから支援を行うようになっています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用者様のニーズや課題などの支援の方向性を話し合うモニタリング会議を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		少なくとも六ヶ月に一度は個別支援計画の振り返りを行い、利用者様に合わせたプログラムになるように工夫しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		保護者の希望を伺ったりお子様の状況を把握しながら個別と集団を組み合わせた支援を提供しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝就業開始時に朝礼を実施し、その中で打合せ、確認を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日終礼を行い、その日の利用者様の様子保護者様からのお話などの共有を行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		少なくとも六ヶ月に一度モニタリングを行ったり、必要に応じて見直しを行っています。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理者もしくは担当指導員が参加できるように調整を行っています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談支援事業所との連携を定期的に行っています。	
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時に本日の様子や気になることなどを共有する時間をとるように心がけています。	現在保育所等訪問が休止中ですが、人員配置が整い次第再開予定です。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継ぎシートなどを通して情報共有を行っています。保護者様からの要望があった場合は直接情報共有を行っています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現在コロナ禍で研修開催が減少しています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍により現在は行っていません。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		糟屋郡の児自立支援部会に定期的に参加しています。 （ZOOMによる部会）	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日の様子は送迎時に直接お話をしたり、連絡帳や公式ラインで様子をお伝えするようにしています。また必要に応じて面談も実施して共有を行っています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○		面談の際などお困りごとや相談があった場合には必要な助言は行っていますが、積極的な活動には不十分かと思えます。今後保護者様からのニーズに沿って検討していきたいと思っています。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に口頭と書面で説明を行っています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		原案作成時、モニタリング実施後に保護者説明を行い同意を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談、家庭内相談の体制も整え、保護者様とお話する時間を設けるようにしています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会を実施し保護者様間の情報共有の場を設けました。	今年是一回のみ開催でしたが、今後は年に二回は実施したいと考えています。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者様からの相談や申し入れを受けやすい体制を整えており、迅速かつ丁寧に対応するように心がけています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		事業所内の公式ラインで活動の様子を発信したり月二回ブログを更新しています。また、週単位の活動予定表を作成、配布しています。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付きのキャビネットに個人情報を保管しています。また、就業後は、	

				パソコンもキャビネットに収納しています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	口頭のみではなく、書面やラインにすることで情報の伝達ができる体制を整えています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域住民の招待などは行っていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	各マニュアルを作成し月一回訓練を実施。日程については利用予定表に記載して保護者様に周知しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年間計画を立て、月に一回防災訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	フェイスシート作成時とアセスメントに服薬状況や発作時の対応など保護者様から共有して頂き職員間で共有を行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アセスメント時にアレルギーについて慎重に聞き取りを行い、徹底を心がけています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	その都度作成し共有を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	入社時研修、行政からの研修、月に一回の社内の研修を受講しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	重要事項説明書に身体拘束についての事項を明記し必要に応じて個別支援計画への記載を行っています。また、身体拘束同意書も各ご家庭に署名押印をして頂き保管しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」福岡空港校

保護者等数（児童数）：21 回収数：20 割合：95%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・7 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1	1	0	他の所のスペースがどのくらいか分からない。	人数が多い時は、プレイルーム、エントランススペースに分かれて静と動の活動を取り入れるように工夫するように努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1	0	0		今後も言語聴覚士、理学療法士、保育士それぞれの専門性を生かしながらより良い支援を行っていきたく思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	0	1	3		今後もお子様がスムーズに活動ができるように、視覚化、構造化を図り環境設定を行ってまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1	0	0		お子様が常に安心して過ごせるように、整理整頓や安全面への配慮を心がけていきたいと思えます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	0	0	0		個別支援計画に具体的な支援内容を記載していますが、不明な点などは、その都度対応させていただきますので遠慮なくお申し出ください。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	0	気になっている事や子ども達の発達に合わせて細やかに支援計画を立ててもらえて安心しています。	今後もその都度ご相談や計画の見直しなど行いますので遠慮なくおっしゃってください。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	2	3	8		現在コロナ禍で各園さんへの出入りが制限されていることもあり未実施です。
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1	0	0		契約時にご説明させて頂いてますが不明な点等はいつでもお尋ねください。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基	20	0	0	0		

説明等		づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか						
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	12	4	0	4		面談の中でお困りごとや相談があった際に必要な助言を行っていますが、積極的に活動しているというには不十分かと思えます。今後保護者様からのニーズに沿いながら検討していきたいと思っております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	0	0	0	活動の後に詳しく内容説明してもらえるので親では気付かなかったことなど、新しい発見があり成長を一緒に見守ってもらって心強いです。	嬉しいご意見をありがとうございます。今後もお子様と保護者様に寄り添いながら丁寧な支援を心がけていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	0	1	0		事業所内相談、家庭内相談の体制を整え、保護者様とじっくりお話できる機会を設けるようにしています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	2	1	4		コロナ禍により実施を見合わせていましたが、今年度ようやく実施出来ました。ご参加の皆様にはとても喜んで頂けました。今後も年二回は実施していきたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	1	0	0		現在月二回のブログや事業所の公式ラインにてお子様の活動の様子を保護者様へ配信しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20	0	0	0		
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	0	0	1	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0	0	「おはしも」の約束や「知らない人に付いていかない」などしっかり理解しており、教えてくれます。	おうちでもお話をしてくれてとても嬉しく思います。今後も毎月一回訓練（火災、地震、大雨洪水、不審者対応のいずれか）を実施していきます。日程につきましては毎月配布しています利用予定表に記載しています。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	20	0	0	0	・先生やお友だちの名前を覚えて新しい先生の名	今後もお子様が安心して楽しく過ごせるように環境設定や職員への対応などを考えていきます。

満足度						前も教えてくれるようになりました。 ・毎週遭うのを嫌がらずに遇わせてもらっています。	
	㊦ 事業所の支援に満足しているか	20	0	0	0	・本人にも無理のない時間でプログラムを組んで頂き大変満足しています。 ・これからもよろしくお願ひします。	今後も保護者様や関係機関との連携を図りながらよりよい支援を提供していきたいと思ひます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。